

本号では、市内の環境保全協定を締結している事業所において、地道に環境保全活動に取り組まれ着実に成果をあげられており、他社の参考となる取組み事例を紹介します。

企業名: オムロン株式会社 野洲事業所

住所: 野洲市市三宅686番地1

◆オムロン株式会社野洲事業所のご紹介

創業	2009年4月
敷地面積	42,000㎡ (甲子園球場の1.1倍)
延床面積	74,696㎡
従業員数	約1,600名 (社員: 900名、派遣/業務委託: 700名)
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・MEMSの研究開発、製造・電子部品の研究開発、製造・検査システムの設計・エネルギー変換/コントロール機器、駅務および 道路/交通管制システムの開発、設計、製造
問合せ先	077-588-9000



◆オムロンの企業理念、オムロングループ環境方針

オムロンは企業理念の実践を通じて「よりよい社会」の実現を目指しております。「よりよい社会」とは環境視点では「持続可能な社会」を意味しています。わたしたちは、「持続可能な社会」の実現に向けて事業を通じて貢献いたします。

Our Mission
(社憲)

われわれの働きで われわれの生活を向上し よりよい社会をつくりましょう

Our Values
私たちが大切にしている価値観

- ・ **ソーシャルニーズの創造**
私たちは、世に先駆けて新たな価値を創造し続けます。
- ・ **絶えざるチャレンジ**
私たちは、失敗を恐れず情熱をもって挑戦し続けます。
- ・ **人間性の尊重**
私たちは、誠実であることを誇りとし、人間の可能性を信じ続けます。



オムロングループ環境方針

私たちは、オムロングループの企業理念に基づき、地球環境に貢献する商品・サービスの提供と、すべての経営資源を最大限、有効に活用することにより、グローバルで持続可能な社会の実現に貢献していきます。

1. 地球環境に貢献する商品・サービスの提供
私たちは、持続可能な社会の実現に貢献する商品・サービスを提供します。
2. 地球温暖化防止
私たちは、バリューチェーン全体で温室効果ガス排出量の継続的改善を行います。
3. 資源の有効活用
私たちは、ものづくりに必要となるすべての資源は、地球・社会からの預かりものと考え、最大限、有効に活用します。
4. 自然との共生
私たちは、大気汚染・水質汚染・土壌汚染が自然環境の破壊につながることを強く認識し汚染の予防に取組みます。
5. 環境マネジメントの推進
私たちは、グローバルに環境マネジメントシステムを確立し、継続的な改善を図り、法的要求事項を順守し、ステークホルダーに対して環境情報開示を行い説明責任を果たしていきます。

2015年8月1日改定
オムロン株式会社
代表取締役社長
山田 義仁

◆地球温暖化対策への取組み

オフィスビルの消費エネルギー削減により地球環境の負荷を低減

オムロングループは、企業理念に基づいて持続可能な社会の構築に寄与する「環境ビジョン グリーンオムロン2020」に取り組んでいます。その一環として、野洲事業所にて計画された新1号館を地球・地域にやさしい建築とし、「ZEB Ready」認証の取得を目標にしました。このプロジェクトでは、野洲事業所とオムロンソーシャルソリューションズ株式会社が連携して省エネ/創エネを積極的に進め、さまざまな環境配慮技術と自社製品を組み合わせることによって、建物のエネルギー消費量を51%削減することに成功。2019年には建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)認証の「ZEB Ready」を取得しました。



建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)認証の「ZEB Ready」を取得

屋上に設置の太陽光発電パネル

◆低炭素に取り組む工場 CO2削減の取組み

オムロン野洲事業所では低炭素化に向けて様々な取組みを実施してまいりました。

- 主な取組み：
- ・空調のプーリー交換による回転数制御による電力削減
 - ・電力量低減システム、還流式ボイラー、冷凍機によるCO2削減
(高効率機器による省エネルギー化)
 - ・照明機器のLED化による電力・CO2排出量削減
 - ・太陽光発電導入によるCO2排出量削減



コンプレッサ



ボイラー



冷凍機



オムロン野洲事業所は国内オムロングループで最大のCO2排出工場です。
オムロングループ電力使用量の12%を野洲事業所で使用しています。
上記等の取組みにより、最大値30,540トン/年→およそ半分にまで削減しています。



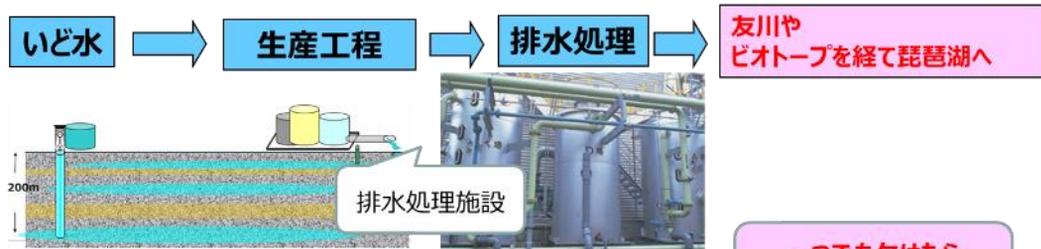
オムロングループでは、
2050年に温室効果ガス排出量ゼロを目指す新目標「オムロン カーボンゼロ」を設定しました。
オムロンは、省エネの推進と再生エネルギーの積極的な導入、そしてオムロンのコア技術、「センシング & コントロール + Think」を活かした持続可能なものづくりを実践し、
環境負荷低減に取り組む持続可能な社会の実現に向けた事業活動をさらに加速し、
低炭素から脱炭素に向けて取り組んでいきます。



◆生物多様性の取組み

オムロン野洲事業所は、半導体を製造するために1日に約1,000m³の地下水を使用しています。
 (一般家庭における一日の水使用量のおよそ1,200軒分に相当)
 その工場排水を有効利用したビオトープを造成し、環境省が絶滅危惧IA類に指定している
 イチモンジタナゴの保護・増殖に取り組んでいます。
 滋賀県に立地する工場として、マザーレイクと称される琵琶湖の生態系の保全を行っております。

●事業所の工場排水を使ったビオトープ



●イチモンジタナゴをめぐるいのちのつながり



3者がバランス良く生きていけるための、多様な環境作りが必要



また、外部との協働保全活動として、多様な主体がつながるプラットフォームの構築を念頭に置きながら、滋賀県内にある企業8社が連携し、「生物多様性びわ湖ネットワーク」として水と深い関係があるトンボを共通の指標生物とし、県内に存在すると言われる100種のトンボの調査、保全、発信の3つのアクションを活動の軸として取り組んでいます。

外部企業と協働の 保全活動



目的 滋賀県の生物多様性を保全する



◆社外へのアピール・評価

オムロン野洲事業所や、オムロン野洲事業所を含む「生物多様性びわ湖ネットワーク」でのSDGsや生物文化多様性の取組みは、近年、多方面において評価・表彰をいただいております。野洲事業所ではこれからも引き続き、生物多様性の取組みによる環境保全の環を広げていきます。

－「しが生物多様性取組認証制度」で「3つ星」を取得

オムロン野洲事業所では、2018年に滋賀県が2018年度より実施した「しが生物多様性取組認証制度」において最高ランクの「3つ星」の認証を取得しました。

この制度は、滋賀県内に本社または事業所をおく事業者および団体等が行う生物多様性保全活動等に関する取組みを知事が認証するものです。



－しが生物多様性大賞受賞

【主催：滋賀県、滋賀経済同友会】 2018年2月

協働の力を活かした発展的な生物多様性保全活動への取組みとして評価をいただき、「しが生物多様性大賞」を受賞しました。

－国連生物多様性の10年日本委員会認定連携に認定

【事務局：環境省】 2018年3月

トンボを象徴種に、生物多様性保全活動をつなぎ、促進させている生物多様性保全上高い効果を持つ取組みとして評価をいただきました。



－生物多様性アクション大賞2019 審査委員賞 受賞

【主催：国連生物多様性の10年日本委員会】 2019年12月

8社が連携し、トンボ100種に対し、3つの作戦を実施。各社が「推しトンボ」を選定し、保全や調査を実施する取組みは、いままでにない連携の姿として評価をいただきました。配布冊子には、調査でしか得られないリアルな情報が記載され貴重な資料にもなっています。



－「日本資源保護大賞2021」大賞/教育普及部門 受賞

【主催：日本自然保護協会】 2021年3月

滋賀県に拠点を持つ異業種の企業8社が連携し、県内で確認されている100種のトンボの調査・保全・情報発信に取り組み、専門家や地域団体との連携の輪を広げながら、一丸となって滋賀県の生物多様性保全に楽しく貢献している、として評価をいただきました。



大賞/教育普及部門

生物多様性びわ湖ネットワーク（滋賀県）

トンボ 100 大作戦～滋賀のトンボを教え！

滋賀県に拠点を持つ異業種の企業 8 社が連携し、県内で確認されている 100 種のトンボの調査・保全・情報発信に取り組み、専門家や地域団体との連携の輪を広げながら、一丸となって滋賀県の生物多様性保全に楽しく貢献している。



◆社会貢献活動

地域社会からの日頃のご支援やご協力に感謝の意を表すため、創業記念日である5月10日を「Founder's Day」と定め、社員が社会貢献活動を行う取組みを実施してきました。また2016年からは、創業記念日での実施と限定せず、より多くの地域課題の解決につながる活動へと進化させています。

野洲事業所の近隣の川を清掃しました。
ビワマスが遡上出来るように清掃活動を続けています。



近隣施設の園内の草刈りを行いました。



◆地域交流

オムロン野洲事業所では、野洲市の学童保育所や小学校の児童などを対象にビオトープでの自然観察会を開催しております。企業が生物多様性の保全に取り組む意義を伝えるとともに、生き物や自然の大切さを学んでいただく機会とし、保全意識を将来につなげてほしいという願いも込めて実施しています。



2016年度からは、
野洲市の学童保育所や小学校の児童などを対象に
自然観察会を開催。毎年、約300名が参加しております。

